

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-190	12-141	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)		
Alcoholic beverage consumption by adults compared to dietary guidelines: results of the National Health and Nutrition Examination Survey, 2009-2010. 食事ガイドラインと比べた成人のアルコール飲料摂取量：米国国民健康栄養調査 2009-2010		
執筆者		
Guenther PM, Ding EL, Rimm EB.		
掲載誌		
J Acad Nutr Diet. 2013 Apr;113(4):546-50.		
キーワード		
アルコール、食事ガイドライン、国民健康栄養調査		
要 旨		
目的： 2010 年米国食事ガイドライン(DGA)では、適正な飲酒量として男性では 1 日 2 杯(2 drinks)以内、女性では 1 杯(1 drink)以内にすべきとしている。本報告では、この適量を超える量を摂取している成人の割合、また、過剰飲酒（男性 4 杯、女性 3 杯を越える）の割合をあきらかにする。		
方法： 2009-2010 年の米国国民健康栄養調査における食事摂取量データを分析した。21 歳以上の男性 2740 人、女性 2941 人において、コンピューター支援プロトコールによる 24 時間思い出し調査を行った。結果は、国民を代表するよう重み付けを行った。		
結果： 推定 1 日摂取量は、男 1.2 杯、女 0.4 杯（1 杯(1 drink)はエタノール 14g）であった。ある日において男の 36%、女の 21%が飲酒していた。男の 82%、女の 89%は DGA 基準を超えておらず、男の 8%、女の 3%が過剰飲酒だった。DGA 基準を超える飲酒者の割合は年齢階級によって異なり、男では 31-50 歳、女では 51-70 歳で最も多かった。		
結論： 過剰飲酒は重要な健康問題の 1 つであり、若年成人に限ったことではない。栄養士およびほかの保健医療専門家は米国成人における過剰飲酒に注意すべきである。消費者教育の教材も利用可能である。		